回遊性のあるまちづくり

まちなか観光

第二次アクションプラン策定

市では新幹線アクションプランの策定に伴い、まちなか観光の振興、観光まちづくりをどのように進めるか。その方向性をさぐり、実質的なアクションを起こすために第二次アクションプランを策定しました。

雪国の『歴史と信仰の城下町』四季の彩り魅せる街

多くの古刹・名刹が建ち並ぶ「雪国の小京都」飯山は、高橋まゆみ人形館をはじめ「日本のふるさと」を感じられる街でもあります。

この歴史と信仰と雪国文化を持つ城下町飯山の魅力を活かして、まちなか観光を形成・推進するため、「雪国の『歴史と信仰の城下町』四季の彩り魅せる街」を整備方針とします。

アクションプランの概要

第2次アクションプランでは、城山を中心とした観光ポイントの整理と整備を行い、その観光ポイントをつなぐモデルコース(歩く旅)の作成や、観光ガイドボランティアの育成、官民共同での「地域の食」開発や空き店舗の活用などの経済活動支援、花の植栽など住民活動への支援を行うことで、住民の皆さんとの対話を基本に、まちなか観光の魅力創出を行い、飯山の魅力を発信するガイドブックの作成やガイドツアーの実施なども計画に盛り込まれ、「回遊性のあるまちづくり」が提案されています。

以下アクションプランの要点を説明します。

「食」を中心に事業を展開し、ハード事業では「見る」、ソフト事業では「おもてなし」を充実

旅の原点は、異国文化との出会いと感動にあると思います。

まちなかを観光で発展させるには、飯山のシンボルである城山を観光ポイントとして磨き、城下町を散策エリアとします。また、雁木通りなど雪国文化を象徴する街並みに合わせ、「食」を中心に事業展開を図り、ハード事業では「見る」を、ソフト事業では「おもてなし」の充実を図ります。

女性の視点で「歩く旅」を提案。点と点をつなぐ観光マネジメントを検討

事業の組立には、専門的リーダーや市民組織との話し合いを持ちながら、旅行者の中心となる女性の視点で、ストーリーづくりを進め、飯山の資源を「歩く旅」という目線でつなぎます。また、商店街の回遊性には、観光の核を創出し、「食」によって連続性を持たせます。

観光の核創出とともに、点と点をつなぐ観光マネジメントを検討し、城山や人形館、個人のお店など官民のつながりに重点を置いて、サービスを充実させます。

また、田園風景や街並み散策まで案内できる「観光ガイドボランティア」を育成し、人形館などで、お客様のご案内やおもてなしを行い、まちなかへと誘導します。

モデルコースによる重点整備コースの設定

歩くコースとしてモデルコース(↖左上マップ「のんびり歩くミニツアー」参照)を検証し、この中から整備すべき観光ポイントとコースを検討します。

また、「歩く旅」としてルート設定を記載したガイドマップをさらに進化させ、数々のテーマ(寺町とスイーツ巡り、上杉謙信と飯山城、内山紙と飯山仏壇、雪国文化と富倉ソバ・郷土料理など)による魅力あるツアーコースを設定します。

同時にガイドツアーの開催により寺めぐりだけでなく、スイーツ店、お仏壇店などにも訪れていただくよう事業を展開します。

推進期間と整備

第1期では基盤をつくり、第2期を成長期とします

今年度からの3ヶ年、平成22年から平成24年までを第一期とし、基盤づくりを行い、新幹線開業前後の3ヵ年、平成25年から平成27年を第二期とし成長期とします。

第一期では観光の核を創出することを主眼におきながら、観光案内施設や駅周辺の整備を進め、第二期からは新幹線飯山駅とこの核をつなぐ事業展開を行います。

観光資源の整理と整備計画

現在保有する観光資源を次のとおり整理します。(左表参照)

①重点歴史的資源

②文化的資源(島木赤彦、土田耕平、荻原井泉水、島崎藤村などの文学碑)

お寺に点在する文化的資源を役立てます。

③芸術的資源

④景観街並み資源

歩道、植栽、街灯、看板などの整備には、統一的なデザインなど観光的な配慮が求められます。また、遊歩道や商店街などを花や緑で演出し、四季に応じた美しい街並みを創出します。

⑤観光的公共施設

共通チケットなどによって連携を高めます。

住民との連携

住民参画による名所づくりや花飾り運動の支援、起業・経営拡大など支援に加え、既存店舗・空き店舗などを活用して、地域の特色ある食事や「いなかのファストフード」などを開発し提供します。

新幹線飯山駅からのアクセス

距離や時間、利便性を考えると、タクシーやコミュニティーバスが基本ですが、自転車などの交通手段も検討していきます。

観光資源の整理及び整備計画

観光資源名称	整備計画及び現状など
①飯山城址公園	石垣、土塁、枡形など郭の保全 本丸・二の丸から歴史的な眺望が望める整備 ガイド案内などにより、歴史を語れる城址
①正受庵	改修工事完了　遊歩道など周辺整備
①真宗寺	遊歩道や25m道路など周辺整備
②文化人と文学碑	ストーリーづくり
③高橋まゆみ人形館	今年度開館　周辺整備
④寺めぐり遊歩道	住民との話し合いによる植栽や看板設置
④愛宕町雁木通り	立て格子の設置　花飾り運動支援 喫茶や土産品店など立ち寄れるお店の展開
④北町通り	花飾り運動支援
④仲町通り	街灯の見直し　花飾り運動支援
⑤飯山市美術館	共通チケットなど各館との連携
⑤伝統産業開館	共通チケットなど各館との連携
⑤飯山市ふるさと館	共通チケットなど各館との連携
⑤手すき和紙体験工房	共通チケットなど各館との連携
⑤奥信濃展示試作館	仏壇作成の技術を使った創作的な作品展示
⑤ぶらり広場	
⑤飯山案内処	新幹線飯山駅と観光の核をつなぐ役割を担う。営業など幅広い視点から利用を検討

高橋まゆみ人形館が開館し、賑わいをみせる愛宕町から城山公園へ向かう道。
この人の流れを「まちなか」へも誘導できるよう、魅力ある「まちなか観光」を展開します。